

開講日	2015年秋期 水曜日 18:30-20:00	講義場所	研究棟11階講義室A	定員	60名程度
コーディネーター	名古屋市立大学・医学研究科・脳神経生理学 教授 飛田秀樹 / 名古屋市西部地域療育センター 所長 宮地泰士				

科目概要 および 期待される 成果	<p>【概要】 発達障害に対する理解、指導法の習得、事例研究、などが進み、勉強熱心な関係者が多い。最近では教育現場の教員や療育にたずさわる関係者の中には、発達障害の医学的知識を知りたい、薬の作用メカニズムを知りたい、脳の仕組みを知りたい、などの声も多くなってきた。本講座では、ADHDを中心に発達障害の医学/生物学的な知識を実験結果からの裏打ちから深め、今後の発達障害児の教育/療育の幅を広げられることを目指す。</p> <p>【期待される成果】 運動や行動の脳のしくみ、発達障害の診断から病気の医学的理解、環境要因の生物学的影響などについて学び、受講後のさらなる自己勉強がよりスムーズとなるとともに、実際の教育/療育現場での対応法の応用を考える手助けとなる。</p>
目標とする 資格	

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
脳のしくみと 病因を知る	1	神経の基礎から行動のしくみを学ぶ	脳は神経、神経膠細胞、希突起膠細胞から構成される。胎児期に基本が作られ、20歳頃までゆっくり成長している。神経系の発達と動物としての神経系の基本的な働きを学びます。	9月2日	教授 飛田 秀樹 名古屋市立大学大学院医学研究科 脳神経生理学
	2	遺伝?それとも環境が大事?	ADHD関連遺伝子が進んできました。一方、環境により行動や遺伝子発現が大きく変化することが証明されました。実験データを交え、教育(環境要因)の重要性を学びます。	9月9日	教授 飛田 秀樹 名古屋市立大学大学院医学研究科 脳神経生理学
	3	脳と環境物質の関連を知る	近年、有機リン系殺虫剤がADHDの有病率と関連すると米国の研究者が報告し、話題になりました。微量な化学物質の体内取り込みと発達障害に関する最新知見を学びます。	9月16日	教授 上島 通浩 名古屋市立大学大学院医学研究科 環境労働衛生学
発達障害の発 見から診断へ	4	ほめて育てる:実践/実習編	発達障害児に限らず、ほめて育てることは子どもにとって大切なことです。しかし、その実践にはいくつかのコツと注意点があります。実習を通してそのコツやポイントを学びます。	9月30日	所長 宮地 泰士 名古屋市西部地域療育センター
	5	発達障害の診断	ADHDをはじめとする発達障害それぞれの特徴や診断基準、それぞれの違いや鑑別診断について学びます。	10月7日	医師 福原 里美 名古屋市立大学病院 小児科
	6	発達検査の解釈とその応用	今回は学齢児によく行われる発達検査の一つであるWISC-III、IVを中心に、発達検査の結果をどのように解釈し、実際の指導に活かすのかを学びます。	10月14日	医師 永井 幸代 名古屋第二赤十字病院 小児科
発達障害の病 態を知る	7	薬を知る:薬の効き方から副作用まで	ADHDや発達障害の治療で用いられる薬が、どのように作用するのかについて学びます。さらに、その副作用についての理解を深め、適切な服薬へのアドバイスを可能にすることが目標です。	10月21日	医師 大橋 圭 名古屋市あけぼの学園
	8	発達障害の画像研究	ADHDをはじめとする発達障害の病態を明らかにするには、当事者を対象とした脳画像研究が欠かせません。本講義では、磁気共鳴画像法(MRI)やポジトロン断層法(PET)などを駆使した研究による最近の知見について学びます。	10月28日	准教授 鈴木 勝昭 浜松医科大学 精神医学講座
	9	大人の発達障害を知る	ADHDは発育期の子供だけの問題ではありません。最近では、大人のADHDも注目されています。ライフステージ毎の発達と療育も意識してみましょう。	11月4日	病院講師 山田 敦朗 名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学
	10	病気に併発する発達障害	先天性の疾患や周産期障害による疾患に併発する発達障害のケースもあります。病気の原因に応じた発達障害のベストな療育に向け、その病気自体について学びましょう。	11月11日	所長 谷合 弘子 名古屋中央療育センター
教育/療育の 実践へ	11	トータル環境を考える: 保護者との連携	ADHDや発達障害児の治療には対応の方法などの環境調整が不可欠です。学校と家庭で子どもへの一貫した関わり方が可能になるためには、どのような連携が必要なのか考えます。	11月18日	所長 浅井 朋子 名古屋市発達障害者支援センター
	12	社会的スキルトレーニング: 理論と実践	ソーシャルスキルトレーニングの考え方とそれが子どもにとって何故必要なのかについて学びます。	11月25日	代表 伊藤 久志 アイズサポート
	13	先端研究の取り組み状況	学習など困難を抱える子供の状況を打破する身の回りのテクノロジー(アルテック)があります。アルテックを利用した障害児の為に教育支援の最先端研究を学びます。	12月2日	教授 中邑 賢龍 東大先端科学技術研究センター
	14	より良い教育/療育に向けた 課題を知る	教育現場および行政サイドの立場から発達障害に関わった経験者からのお話を伺い、より良い将来の教育/療育に向けた現状とその課題を考えましょう。	12月9日	校長 山口 純枝 名古屋市立中小田井小学校
	15	新たな教育/療育を考える: グループディスカッション	本講座のまとめを、ディスカッション形式で行います。生物学的な理解を深めたのち、どのように教育/療育に繋げることができるのでしょうか?	12月16日	教授 飛田 秀樹 名古屋市立大学大学院医学研究科 脳神経生理学